

- ★被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】は注文番号500253 1口500円にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★関東子ども健康調査支援基金【寄付】 注文番号:500252 1口1000円～ にて毎週受け付けています。ご協力よろしくお願い致します。
- ★東海第二原発差止訴訟基金【寄付】 注文番号:500251 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。
- ★JOSO脱プラ基金は注文番号:500254 1口500円にて毎週受け付けていますご協力お願い致します。



News Letter

2022年11月4回号 発行:常総生協広報G



2022-23年度活動テーマ(案)「つくと食べるでつながろう ～私たちの地産地消～」

東海第二 控訴審 第1回口頭弁論期日決定！ 2023年1月31日 (火) 10時半～ (朝 9時高裁玄関前集合)

○第1回期日が決定しました。

第1回口頭弁論期日が来年1月31日(火)10時半から東京高裁「大法廷」で開かれます。第1回弁論期日では75分の予定で弁護団代表がこの裁判の意義と審理すべき事項を弁論するとともに、原告3名が「私たちはなぜ訴えを起こしたか」の意見陳述を行う予定です。

東京高裁大法廷の傍聴席は100名ですが、「原告優先傍聴席」は40名を確保しています。多くの原告・賛同人で大法廷を埋めて、国への忖度をさせない裁判運営・公正な審理をするよう住民の思いとパワーを裁判官に示したいと思えます。皆様、どうぞご参集ください。常総生協は団体の原告として、また、原告団事務局として役割を担っています。生協の組合員さんも、是非参加できる方はご参加下さい。当日は、朝9時に高裁玄関前集合で、傍聴券抽選と並行して高裁玄関前歩道で集会を予定しています。組合員さんで原告・賛同会員以外の方でも参加できる方は生協までご連絡下さい。

○年2回の弁論期日(大法廷)

すでに双方の控訴理由書・答弁書、さらに原告側から被告控訴理由書に対する求釈明と釈明が提出され、また被告日本原電は3月に工事完了期日を2024年9月に延期する旨の「上申書」を裁判所に提出していました。

裁判の進め方についての「進行協議」が招集されないことから催促した結果、ようやく7月7日に第1回進行協議が開かれました。8月末で裁判長が定年退官予定で、裁判所は新任の裁判長が着任してから進行協議を開こうとしていたようです。

7月7日の第1回進行協議では、原告側から「大法廷」での開催ならびに原告優先傍聴席40名の確保を要求。これについては了解されました。あわせて原告側からは、10の論点を主張する旨の「上申書」を提出。裁判の基本スケジュールは「年2回弁論期日開催(大法廷)、その間に年4回の進行協議」となりました。

○控訴審で原告側が争点とする点

今年7月の第1回進行協議に控訴審での主張項目として裁判所に提出した争点は下記のとおりになります。

(争点1) 原子炉等規制法が違憲無効であることを理由とする差止請求の可否	(争点6) 火山(気中降下火砕物)
(争点2) 人格権に基づく原子炉運転差止訴訟の要件・主張立証責任等	(争点7) 事故防止に係る安全確保対策及び実効性確保対応
(争点3) 地震に対する安全確保対策(基準地震動の策定)	(争点8) 立地指針及び避難計画
(争点4) 地震に対する安全確保対策(耐震安全性)	(争点9) 経理的基礎の要件の範囲及びその有無等
(争点5) 津波に対する安全確保対策	

(専務理事 伊藤)

<p>●生協基幹運営/地域活動・催し●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/12(土) 地産地消野菜チーム(清水農園 援農交流会) ・11/12(土) 地産地消野菜チーム(青木農園 援農交流会) ・11/25(金) ニューオークボ工場見学会(柏市) ・11/26(土) 石岡鈴木牧場 産地交流会(石岡市) ・11/30(水) 定例理事会 	<p>●提携・協同・連帯企画●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/12(土) 甲状腺検診@柏(関東子ども健康調査支援基金) ・11/19(土) 「歴史を学ぼう～未来のために～」講座
--	--

「ひぬま流域クリーン作戦」に参加してきました。（地産地消 水産チーム 大橋、入江、木内）



10/22（土）「クリーンアップひぬまネットワーク・チャレンジいばらき県民運動」の呼びかけで行われた「ひぬま流域クリーン作戦」に地産地消・水産チーム職員3名で参加してきました。

涸沼は、茨城県中部の銚田市、東茨城郡茨城町、大洗町にまたがっており、淡水と海水が混ざりあう汽水湖（きすいこ）で、「ヤマトシジミ」の全国的な産地になっており、涸沼沿岸では直売営業所も見られま



す。私たちも毎週のようにカタログに掲載し、利用させていただいています。

以前は、透明度の高いキレイな沼だったそうですが、高度成長期には合成洗剤等を含んだ生活排水や化学肥料などが農業排水として流れ込み、水質が悪化しました。その現実に危機感を持った涸沼流域の住民たちや関係団体の方たちが水質浄化、環境保全活動に取り組み、2015年には国際的に重要な湿地の保全を目指す「ラムサール条約」に登録されました。しかし、残念なことに護岸工事などの影響でヤマトシジミの漁獲高は年々低下しています。

当日は、晴天であたたかく450名近くの参加者が集まりました。ゴミ袋とトングを持ち、それぞれのコースに分かれてスタート。ゴミはそれほど落ちては無く、地域の方たちの日々の活動が伺えました。ゴミの収集量は120kgでした。

地産地消チーム《水産チーム》は、水産物を扱うメーカーさんたちのこだわりを生産現場を見学して学び、漁師さんたちの作業現場を訪れ、ご苦労や現状を共有する活動を行いたいと考えています。また、今回涸沼で行われた環境保全活動に参加し、私たちを取り巻く自然環境についてもみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

前回は、千葉県船橋市にあるリアスさんを訪問して海産物、特に昆布について勉強させていただきました。次回は、涸沼のしじみを取り扱っている茨城県ひたちなか市の「塩屋」さんを訪問し、涸沼でのしじみ漁の様子、私たちの台所に届くまでを見学させていただき、涸沼の現状・漁師さんや塩屋さんのスタッフの大切にしているこだわりをお聞きしたいと思っています。（大橋）



～参加した職員の感想～

涸沼自然公園を基点とした3コースに分かれて、コース上に捨てられたごみの回収をしました（参加者約450名）。当日は天気も良く、地元の中学生なども参加しており、多くの参加者に驚きました。実際参加

してみると日頃の地域の取り組みのお陰か、あまりゴミはなく、みんなが涸沼の環境を守ろうとしていることが感じられました。

(供給部：入江)

初めて涸沼に行きました。コロナの影響もあり、約3年ぶりの開催だったようです。まず思ったことは「涸沼ってこんなに大きいのか!」といった印象です。道沿いにはしじみの直販所やうなぎ屋さんがあり、海産資源が豊富なエリアなのだと思います。我々が担当したコースはゴミが少なく、日ごろから地域の皆さんがゴミに対しての意識が高いのだと思いました。

(供給部：大橋)

涸沼は、よく釣りに出かけていた場所で、今回は環境保全活動に参加するために訪れました。当日の朝、涸沼自然公園に集合ということで向かいましたが、先に着いた職員から駐車場がいっぱいで臨時駐車場が開設されたと連絡がありました。集合場所に着くと多くの方が集まっており、地域の方たちの環境に対する意識の高さが伺えました。各コースに分かれてゴミ拾いを行いました。ゴミはそれほど落ちてなく、散歩をしているような感じでおしゃべりしながら楽しい時間を過ごさせていただきました。今、マイクロプラスチックの海への汚染が問題視されています。私たちが使用したビニール袋がしかるべき処理をされず、ゴミとして河川から海に流れ着き汚染されています。日常の地球への心づかいが大切だと考えさせられた一日でした。

(常勤理事 木内)

＼常総生協と一緒に働く人・大募集!／

未経験OK!
仕事は丁寧に教えます!!
生協スタッフ

私達は地産地消、地域自給の基礎づくりを事業基盤に「畑から台所まで」をテーマとした“食”を追求しています。
食に興味のある方大歓迎!!自分の仕事が人の輪をつくらせていく、地域貢献度の高いお仕事を始めませんか?
＼フレンドリーな仲間と働こう!／

曜日・時間
扶養内業務
応相談

① 配送スタッフ
2メートルのトラックでの配送です!
未経験でもスキルに合った業務量!
普通免許(AT)で運転できます!
※40歳迄(長期のキャリア形成の為)

② 商品PRスタッフ
ご家庭を訪問して生協の商品を試食説明し、ご案内するお仕事です。
要普通免許(AT可)
活動エリア:茨城県南ほか東葛エリア

③ 仕分けスタッフ
生協の雑貨、食品のピッキング作業。
難しい作業がないので未経験の方でも
すぐに即戦力になることが可能です!

職場見学も随時受付

現在タウンワークなどの求人募集紙に常総生協の求人(①配送スタッフ、②商品PRスタッフ、③仕分けスタッフ)を掲載しています。特に①配送スタッフの人数が足りていません。ご家族・ご友人で興味・関心のある方がいましたら、ぜひ生協本部までお問合せください。

【①配送スタッフの要件】

- ・ 8:30～17:30：規定時間外有／月給15.8万～+残業、諸手当／年収例390万円/月給27万+手当(2年目の例)
- ・ 休日/週2日制(土日)※休日出勤有／年間休日105日

<連絡先> 0297-48-4911 採用担当：総務部(キウチ・イハラ)

○この時期の長ねぎについて

10～11月中旬の長ねぎは地場産地の圃場の切り替えで細い傾向です（現在お届けしている長ねぎは、夏場の猛暑で太りませんでした）。カタログ表記上500gという規格は守っており、現在500gの中に7～8本ほど入っています。



もちろん、化学肥料で短期的に太らせて出荷する（＝慣行栽培）事も可能ですが、土作りを大切にしている生産者は、そのようにしていません。

現在の圃場から秋作の圃場に切り替えればある程度太い長ねぎをお届けできるかと思えます。何卒ご理解いただき、引き続き利用をお願いします。

（商品部）

○島香さんのお魚講習会にて

冷凍サバを使って、一枚はお魚教室で食べた片栗粉炒めの塩コショウ味にしました。もう一枚は西京漬けにして食べました。魚嫌いの息子が片栗粉炒めを毎日でも食べると喜んで食べていました！（組合員さんからの調理写真）



（Oさん）

○館野さんの梨、今年もありがとうございます。

館野さんの梨、毎週注文していただいています。とても美味しいです。特に今年の夏の猛暑で疲れた体は8月に入って館野さんの幸水が商品案内に載って届くのを待っていました！もう感動しました。



す～っと体が、そして心も癒されていく感じを今も覚えています。

夏の時期には、暑さに弱い30代の娘に、毎日食事の前に館野さんの梨を「幸水」「豊水」「新高」を出していました。今回改めて商品案内を見直したら、「梨園の土作り、環境作りを重視し、健全な樹、食べて元気になるような梨作りに取り組んでいます」と書いてありました。

石岡・鈴木牧場の取り組みもそうですが、ちゃんと土作り、環境作りをしっかりとされて果樹が健全に育って、美味しい梨をならせてくれるということなんですね。

長年お世話になって、毎年いただいていた初めてしっかり読みました。すみません（笑）。減農薬栽培とありますが、梨は病害が出やすいのでは？と昔私が子供のころ実家で父が梨を庭で1本

作っていて、梨の病気の対処に追われていて、私もよく手伝いをしました。

作る人にも、食べる側にも農薬は無い方がいいと思っていますが、なかなか大変だと思います。どうぞお体にも気を付けて、また来年もよろしくお願ひします。

（Nさん）

○土別のかぼちゃ

・土別のかぼちゃは加糖しなくてもお菓子のよう

に美味しいです。（Yさん）
・土別のかぼちゃはホクホク食感が最高です。毎年楽しみにしています！（Kさん）

土別農園のかぼちゃについて、ご意見ありがとうございます。天候不順と収穫適期を逃した事で肥大しすぎてしまい、今シーズンは10月4回でシーズン終了となりました。また次年度ご利用をお願いします。

（商品部）

○岩瀬さんの豚肉

岩瀬さんの豚肉、初めて食べた時うまみがあり美味しい！と思いました。亡きお父様の熱意ある飼料・飼育方法を娘さんがしっかりと受け継いで、東京のレストランに認められたこと、心より喜んでいきます。これからも美味しいお肉をいただきながら応援しています。（Iさん）

187 岩瀬さんの豚小間×2

インターネットからのクチコミも多数いただいています♪

○弁天堂のエクレア

あっという間に無くなります。冷蔵庫にあると主人まで喜んで食べてしまい子供達と喧嘩になるので多めに買います。（Kさん）

○ニラ 42

おひたしにして食べてます。シャキシャキでめっちゃ美味しいです！（Sさん）

○えのき茸 92

市販のえのき茸は購入した時点でなんとなく”しなっ”としていて日付が経ったかのよう。丸金さんのえのき茸は包丁を入れた瞬間”シャキッ！”と音がするほど、鮮度抜群です！常総生協と市販との比較で一番ビックリしたのが、このえのき茸です！（Kさん）

インターネット注文のQRコード



→インターネット注文画面・登録はこちら